

IPA「情報セキュリティ10大脅威2020」の紹介

順位	「個人」向け脅威	「組織」向け脅威
1位	スマホ決済の不正利用 NEW	標的型攻撃による機密情報の窃取
2位	フィッシングによる個人情報の詐取	内部不正による情報漏えい
3位	クレジットカード情報の不正利用	ビジネスメール詐欺による金銭被害
4位	インターネットバンキングの不正利用	サポライフェンの弱点を悪用した攻撃
5位	メールやSMS等を使った脅迫・詐欺の手口による金銭要求	ランサムウェアによる被害
6位	不正アプリによるスマートフォン利用者への被害	予期せぬIT基盤の障害に伴う業務停止
7位	ネット上の誹謗・中傷・デマ	不注意による情報漏えい（規則は遵守）
8位	インターネット上のサービスへの不正ログイン	インターネット上のサービスからの個人情報の窃取
9位	偽警告によるインターネット詐欺	IoT機器の不正利用
10位	インターネット上のサービスからの個人情報の窃取	サービス妨害攻撃によるサービスの停止

※ NEWは、今年初めてランクインした脅威

出典：独立行政法人情報処理推進機構(IPA)「情報セキュリティ10大脅威2020」

「個人」向け脅威の解説

今回新しく「スマホ決済の不正利用」がランクインしました。スマホ決済は、現金を持ち歩かなくてもスマホだけで支払いができるという利便性から利用者が増えています。そのため犯人も不正にログインし、勝手に商品を購入する等の手口で狙っています。

「組織」向け脅威の解説

組織の情報が狙われる被害がランキングの多くを占めています。組織で個人情報や取引情報など多くの機密情報を取り扱っていることから、犯人はあの手この手で情報を盗もうと狙っています。

「個人」向けの対策はこちら

1. パスワードは絶対に使い回さない！
2. パスワードには推測されやすい単語、個人情報(名前、誕生日等)を使わない！
3. SMS等のメール中にあるURLからアクセスしない！

「組織」向けの対策はこちら

1. メールの添付ファイルに注意！
2. OSやソフトウェア(ウイルス対策ソフト等)を常に最新化！
3. ホームページを改ざんされないよう保守管理の徹底！